

令和4年9月14日

資料提供

## 『水難事故を防ぐために』

～水難事故多発箇所国・県・市が連携して啓発をおこないます～

紀の川市竹房橋付近は河川利用者が多い一方で水難事故が多発箇所でもあります。このたび、国道交通省和歌山河川国道事務所と紀の川市、那賀振興局が協働して水難事故防止のための啓発活動を行います。

詳細については別添の和歌山河川国道事務所のプレスリリースを参照してください。

### 記

- 1 日時 令和4年9月17日(土) 午前9時30分から
- 2 場所 竹房橋(和歌山県紀の川市)
- 3 日程 9時30分 現地集合  
9時40分 水難事故防止啓発活動及び周辺のゴミ拾い
- 4 出席者 紀の川市長、和歌山県那賀振興局長  
近畿地方整備局和歌山河川国道事務所長  
及び各機関職員

### 【 お問い合わせ先 】

那賀振興局 建設部 管理保全課  
管理グループ 久保

Tel. 0736-61-0044 (直通)

**紀の川は2023年に改修100周年！**

～100年分の思いをのせていこらよ紀の川～

令和4年9月14日14時00分  
資料配布 近畿地方整備局  
和歌山河川国道事務所

## 『水難事故を防ぐために』

～水難事後多発箇所国・県・市が連携して啓発を行います～

紀の川では、2004年からの10年間で13件の水難事故が発生し、2022年には新たに1件の水難事故が発生しています。特に、紀の川市の竹房橋付近は、BBQなどを目的とした利用者が河川を賑わせている一方で、水難事故が多発している箇所でもあります。

和歌山河川国道事務所では、水難事故防止を目的として、河底の状況を『見える化』を行い、この度、和歌山県・紀の川市と協働して啓発看板を設置しました。また、竹房橋付近において水難事故防止のための啓発活動を行います。

警視庁によると、2021年の水難事故発生件数は1,395件で、死者・行方不明者は744人にもものぼります。そのうちの約34%である253人は「河川」が占めています。

また、2003年～2021年の子ども（中学生以下）の水難死亡事故の約5割は「河川」で起こっています。遊泳などの遊びの場として親しまれている紀の川においても、水難事故が多発している状況です。

和歌山河川国道事務所では、紀の川市、和歌山県と協働で、水難事故多発地点の竹房橋の橋脚に水難事故防止を啓発する看板を設置しました。

また、9月17日（土）に竹房橋付近で水難事故防止のための啓発活動を行います。

- 活動場所：竹房橋（和歌山県紀の川市）
- 開催日：令和4年9月17日（土）  
9時30分 現地集合  
9時40分 水難事故防止啓発活動及び周辺のゴミ拾い
- 参加者：紀の川市長、和歌山県那賀振興局長、  
近畿地方整備局和歌山河川国道事務所長  
及び各機関職員
- 取材申込：令和4年9月16日（金）12時までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

<取扱い>

<配布場所>

和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ、  
和歌山県政放送記者クラブ

<問合せ先>

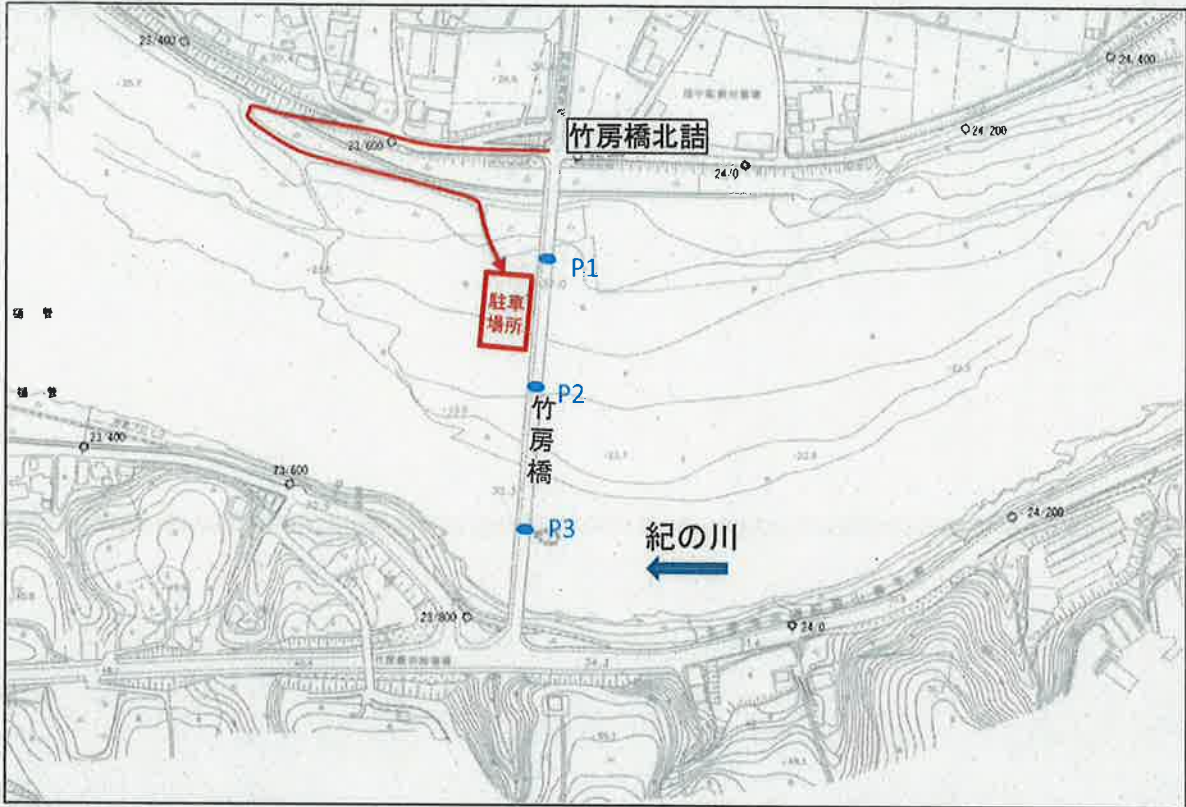
国土交通省近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

総括保全対策官 ツジノ 辻野 マサヤ 雅也

河川管理課長 ナガオ ソウジ 長尾 壮治

TEL 073-424-2471（代）

# 位置図



# 設置看板案

## 水難事故多発！！

川の地形は複雑で、同じ川でも場所によって川の流れが早くなっていたり、急に深くなっていたりする場所があります。

**5m程度の急な深みがある**

標高 (高さ)					(m)
23.4	22.0	20.7	19.4	18.0	16.7

令和3年に実施した測深を基に作成したものであり、現在と異なっている場合があります。

国土交通省和歌山河川国道事務所・和歌山県・紀の川市